

第27回 技能グランプリ 「貴金属装身具」職種

付記事項

- ① 作業場所（作業台）は抽選で決めます。選手も指示するまで会場内には入らないで下さい。
どの作業台も競技上の作業には支障ありません。作業台に対し改造することは認めません。
また、作業台に対する高さは椅子の高さで調整してください。
- ② コーチ・同伴者等の競技場への立ち入りを禁止します。
* 見学コーナーを設けますので、下見・作業準備より競技終了まで、選手・競技役員以外は、競技場内に入らないで下さい
- ③ 会場下見の時点で競技の完全な準備、課題説明・注意事項の周知徹底、ろう材や酸処理用溶液のテストを行ないますから、必ず工具類を持参(工具類の搬入手続きを完了)してください。
- ④ 作業台には、かすがいが取り付けられています。すり板とくさびを持参してください。
また、金しきは、リースなので痛めないように注意してください。
- ⑤ 製作図の製図方式は、技能グランプリの規定に従って「第三角法・現尺」で描いてありますが、プリント製作時に伸縮して図面上の読み取り寸法と指示数値に差異がある場合は、製作時に示す指示寸法を優先してください。
- ⑥ 材料は、競技時間節約のため事前加工をしたもので、作業に支障のない限り、寸法、質量の差異に固執しないで下さい。また、材料の欠陥は、発見した時点で申告してください。
交換や、競技者の不利にならないように対処します。(事後申告は、一切受け付けません)
- ⑦ ろう付設備は『天然ガスー空気』の組み合わせのものに限ります。
また、他の設備や酸素ガスやその他の可燃性ガスの使用は不可とします。
トーチを固定する場合は、固定用の台を持参してください。作業台に直接釘を打ったり、傷を付けないようにお願いします。
* (通常のトーチスタンドは、標準設置してあります。)
- ⑧ 持参工具等は、注意事項(C)のとおり、今作品のために用意したけがき板や展開図・案内図等の持込を禁止します。また、課題の図面をコピーして貼り付けてもいけません。
その他の工具類については、特別に課題を対象としたものでなければ弾力的に対応します。
不審があれば、事前に具体例を示して問い合わせを行い確認(点検)を受けてください。
- ⑨ 矢坊主（パンチ）は、通常に市販のものを多少加工したもので使用が可能ですが、特に、課題のための打ち型（あわせ型・パンチ・ダイ等）の使用は禁止します。
- ⑩ 酸処理溶液は持参工具一覧に記載しましたように、希硫酸溶液のほか、デュクセルまたはニアシッド等を常温使用.....(加熱できません).....にて許可します。(残液は全て持ち帰ること)
* 希硫酸溶液は、共用の恒温加熱装置で加熱使用します。
- ⑪ 作品と残材(粉を含む)は厳重に計量し、過大な消耗をした場合には、その量に応じた減点をしますので注意してください。
* 残材への異物の混入は、厳しく判定します。異物が混入しないよう注意してください。
* 回収・清掃を徹底するため、ワイヤーブラシ・やすりクリーナー等を持参してください。
- ⑫ 作品は、競技終了後に参加選手に対して公開しますが、如何なる場合でも返却はしません。